

青のある暮らし - 着物・器・雑貨

会期 2019年7月2日(火)～7月28日(日)

※ 記載以外は太田記念美術館の所蔵です。

※ 展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

	絵師名	作品名		年代
1階	梅翁軒永春(竹田春信カ)	立美人図	紙本1幅	元禄-享保年間(1688-1736)頃
	松野親信	水仙持つ美人	紙本1幅	正徳-享保年間(1711-36)頃
	歌川国芳/歌川国英	浴後美人図	絹本1幅	弘化-嘉永年間(1844-54)頃
	歌川豊広	蚊帳を釣る美人	紙本1幅	享和-文化年間(1801-18)頃
	歌川国次	桜下遊宴図	紙本1幅	文政-嘉永年間(1818-54)
	歌川国貞	今様三十二相 すしさう		安政6年(1859)2月
	歌川国貞	日月星ノ内 星		弘化元-2年(1844-45)
	歌川国芳	暑中の夕立 (展示期間7/2-7/15)	個人蔵	嘉永2-5年(1849-52)
	歌川国芳	八町づゝみ夜のけい (展示期間7/17-7/28)		弘化元-3年(1844-46)
	歌川国貞	月の陰忍逢ふ夜 湯上がり		天保4年(1833)頃
	歌川国貞	浄瑠璃つくし 傾城恋飛脚 梅川忠兵衛 新口村の段		文政12年(1829)頃
	歌川国貞(三代豊国)	江戸名所百人美女 葉けんぼり		安政5年(1858)3月
	歌川国芳	最上吉日尽 かみあげよし	個人蔵	天保13-弘化3年(1842-46)
	歌川国芳	当盛花合	個人蔵	天保年間(1830-44)頃
	月岡芳年	風俗三十二相 めがさめさう 弘化年間むすめの風俗		明治21年(1888)3月
	月岡芳年	風俗三十二相 けむさう 享和年間内室之風俗		明治21年(1888)5月
	歌川国貞	当世夏景色 水屋		文政(1818-30)後半頃
	歌川国貞	浮世名異女図会 東都式丁町風		文政4年(1821)頃
	歌川国貞(三代豊国)	江戸名所百人美女 木場		安政4年(1857)11月
	伊東深水	新美人十二姿の内 浴衣		大正11年(1922)
	伊東深水	現代美人集の内 蚊帳		昭和4年(1929)5月
	歌川国貞	今様三十二相 上りがよさ相		安政6年(1859)2月
	歌川国貞	隅田川晩夏ノ景		文政13年(1830)頃
	月岡芳年	風俗参十二相 すしさう 明治五六年以来藝妓の風俗		明治21年(1888)5月
	歌川国貞	二・四好今様美人 芝居好		文久3年(1863)11月
	歌川国貞(三代豊国)	隅田の蜚蝶		嘉永6年(1853)3月
豊原国周	俳優白浪當達者 鼠小僧治郎吉 三代目市川九蔵		元治元年(1864)5月	
歌川国貞	梨園侠客傳 土左衛門伝きち ばん東かめ蔵		文久3年(1863)8月	
豊原国周	五代目大谷友右工門の久利加羅でん次		慶応2年(1866)	
2階	歌川国芳	両国夕涼之図	個人蔵	天保3-4年(1832-33)頃
	豊原国周	是ハ万代の談柄 音聞浅間幻燈画 真景五枚		明治21年(1888)10月
	歌川国貞	近世水滸伝 競力富五郎 中村芝翫		文久元年(1861)6月
	歌川国貞(三代豊国)	辰鴛籠櫓三真意		安政6年(1859)12月
	歌川国芳	程芳流行大津絵 宮本無三四		弘化元-3年(1844-46)
	歌川国芳	程芳流行大津絵 吉三		弘化元-3年(1844-46)
	四代歌川豊国	東京芝新堀町米市場手打之図 河原崎座初櫓見物		明治7年(1874)7月
	作者不詳	八代目市川団十郎死絵		嘉永7年(1854)
	歌川広重	東都大伝馬街繁栄之図		弘化元-3年(1844-46)
	歌川国貞(三代豊国)	十二月ノ内 水無月 土用干		安政元年(1854)4月
	歌川国貞	ゑん日の景	個人蔵	文政(1818-30)頃
	溪斎英泉	浮世姿 芝神明宮		天保(1830-44)後期
	歌川広重	名所江戸百景 日本橋通一丁目略図		安政5年(1858)8月

歌川国貞(三代豊国)	四条河原夕涼ノ図		嘉永6年(1853)5月
歌川国貞(三代豊国)	十六むさしの内 おもひざし		文久元年(1861)11月
歌川国貞(三代豊国)	十二月の内 卯月 初時鳥		安政元年(1854)6月
歌川国貞(三代豊国)	与三郎一代咄シ おとみ住家	個人蔵	安政4年(1857)
歌川国貞	月の陰忍逢ふ夜 月みる美人		天保4年(1833)頃
歌川国貞	当世三十式相 世事がよさ相		文政4-5年(1821-22)
月岡芳年	風俗三十二相 かいたさう 嘉永年間おかみさんの風俗		明治21年(1888)
歌川国貞(三代豊国)	浅草雷神門之光景	個人蔵	嘉永6年(1853)
歌川国貞(三代豊国)	おきくの霊 うへ木屋十作		嘉永3年(1850)9月
歌川貞房	新板樹木づくし	個人蔵	天保年間(1830-44)頃
歌川貞房	新板手遊瀬戸物箱庭尽	個人蔵	天保年間(1830-44)頃
葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第八段目		享和末期-文化初期(1803-05)頃
昇亭北寿	東都浅草川山谷堀入口向牛島之景		文化元-6年(1804-09)頃
歌川広重	東都名所拾景 深川新地		天保(1830-44)初年頃
葛飾北斎	富嶽三十六景 東都浅草本願寺		天保元-5年(1830-34)頃
葛飾北斎	諸国名橋奇覧 飛越の塚つりはし		天保4-5年(1833-34)頃
歌川広重	東都名所 佃嶋初郭公		天保2年(1831)頃
歌川広重	京都名所之内 あらし山満花		天保5年(1834)頃
歌川貞秀	長崎丸山之図		天保年間(1830-44)頃
歌川広重	名所江戸百景 神田紺屋町		安政4年(1857)11月
歌川広重	五十三次名所図会四十一 鳴海 名産有松しほり店		安政2年(1855)7月
歌川広重	東海道五拾三次之内 鳴海 名物有松絞		天保4年(1833)頃
歌川国貞	江戸名所百人美女 八町堀		安政4年(1857)
歌川国貞	浮世人精天眼鏡 仮粧		文政(1818-30)後期頃
豊原国周	わしの長吉 四代目市村家橘		慶応2年(1866)3月
菱川師宣	和国諸職絵尽	版本	貞享2年(1685)
	青梅嶋(復元) 村田染工株式会社/藍染工房 壺草苑		平成16年(2004)~
あやその	新版山谷八百善之手拭 抱一上人下画		明治中期-昭和2年(1888-1927)頃
あやその	新版江戸名物笠仙染ゆかたつくし		明治中期-昭和21年(1888-1946)頃
溪斎英泉	婦人今様姿		文政8年(1825)もしくは天保8年(1837)
二代歌川豊国	風流東姿十二支 申		文政8-天保5年(1825-34)頃
溪斎英泉	今様美人十二景 愛走がよさそう 金龍山浅草寺		文政6年(1823)頃
歌川国貞	風流六玉顔 擣衣玉川		文政(1818-30)後半頃
歌川国貞	江戸名所百人美女 王子稲荷		安政4年(1857)11月
溪斎英泉	当世会席尽 向両国青柳		天保年間(1830-44)
歌川国貞	江戸名所百人美女 築地門跡		安政4年(1857)11月
歌川国貞(三代豊国)/ 歌川広重	双筆五十三次 見附 天龍川船渡 天龍川		安政元年(1854)12月
歌川国貞	東海道五十三次の内 京二 真柴久吉		嘉永5年(1852)8月
歌川国貞(三代豊国)	近世水滸伝 炎玉小僧鬼桂助 坂東亀蔵		文久2年(1862)9月
豊原国周	み立いろはあわせ 一番組 与三郎		慶応2年(1866)
歌川国貞	江戸名所百人美女 小梅		安政5年(1858)2月
歌川広重	東海道五十三図会四 神名川		嘉永2-5年(1849-52)
歌川広重	東海道五十三図会世二 荒井 名ぶつ蒲焼		嘉永2-5年(1849-52)
歌川国貞(三代豊国)	卒都婆小町		嘉永6年(1853)2月
歌川国貞(三代豊国)	二・四好今様美人 植木好		文久3年(1863)11月
歌川芳虎	新板植木つくし	個人蔵	安政4年(1857)正月
柳々居辰斎	十芸之内 画		寛政(1789-1801)末-文政(1818-30)初年頃
作者不詳	いろいろの手拭かぶり		明治-昭和21年(1868-1946)頃